

## 品質保証書

本書は、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げの日から下記期間中製品の不具合が生じた場合は、本書とご購入時のレシートをご提示の上、当社、またはお買い上げ販売店にお問い合わせください。

商品名		品番
お客様	お名前	お買い上げ日 年 月 日
	ご住所 〒	TEL
販売店	店名	TEL
	住所	

## 点検とアフターサービスについて

製品の品質には万全を期しておりますが、万一の素材または製造における不具合に対して保証を致します。お買い上げ日より1年以内の製品に限り、交換または修理をさせていただきます。

- ・保証を受ける場合には、お客様のお名前、ご連絡先（ご住所、お電話番号、メールアドレス等）、ご購入日（時期）、ご購入店、商品名（品番、カラー）、および不具合の箇所をお電話または公式WEBサイトのお問い合わせフォームからお問い合わせください。
- ・販売店でのご購入を証明するものが必要となりますので、ご購入時のレシート、品質保証書等は大切に保管をお願い致します。
- ・購入レシート、保証書の紛失や製品の経年劣化、誤ったご使用による破損、改造等は無償修理、交換の保証対象外となりますので予めご了承ください。

QRコード【N/ORN(ノルン)公式WEBサイト】

norndacco.jp

詳しい使用方法や製品情報、アフターサービスについては  
N/ORNのWEBサイトからご覧いただけます。

製造・発売元

**株式会社 カワキタ**

〒577-0343 大阪府東大阪市荒川2丁目4番6号  
TEL. (06) 6723-0002 (代) FAX. (06) 6728-5438  
<https://www.k-kawakita.com/>  
受付時間／10：00～17：00（土日祝日、年末年始を除く）

製品に関するお問い合わせ、不良品等の交換などの相談や、本書の説明書内容について、誤りや記載もれなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。



N/ORN

| 取扱説明書 |

| 品質保証書 |

この度はN/ORN（ノルン）をお買い上げいただき、ありがとうございます。

- 本製品は、腰すわり後（生後約7か月頃から）～20 kg（5歳頃）のお子さまを対象にした「対面抱っこ」専用ショルダーバッグ兼抱っこ補助具です。
- ご使用前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
本書の使用法以外でのご使用は、製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。
- 本書をお読みになされた後は、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

#### 表示について



### 安全のため必ずお読みください。

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

#### 【使用者の条件】

- 本製品は大人（保護者）の使用を想定しています。抱っこをするのに適さない体格の方の抱っこ補助具としての使用は転倒など事故の原因となりますのでお避けください。
- 本製品は健康な成人の使用を対象とした製品です。本製品を抱っこ補助具として安全に使用出来ない状況にある時、背中や肩に怪我や痛みなど問題がある場合は決して使用しないでください。
- 抱っこ補助具として使用される場合、使用者は健康状態や体力を改めてご確認のうえ、腰痛をお持ちの方や医師から重いモノを持つことを禁止されている方は使用しないでください。
- ウエストベルトが使用できないウエストサイズ（ウエスト120cm以上）の方はお子さまが落下する危険がありますので使用しないでください。



### 警告

誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

お子さまが落下し、死亡またはけがをする恐れがあるのでしないでください。

- 首や腰がすわらないお子さまには使用しないでください。
- 抱っこされる際は必ずお子さまを手で支え、両手を離して使用しないでください。
- お子さまを抱っこしている時は跳んだり、走ったりしないでください。
- お子さまが反り返ったり、動いて安定しない場合は抱っこ補助具として無理に使用しないでください。
- お子さまを抱っこしている時は極端な前かがみなど、無理な体勢は絶対にしないでください。
- お子さまの乗せ降ろしは安全な場所で、必ず腰を低くした姿勢で行ってください。

事故につながる可能性があるため、使用を中止してください。

- ご使用になられる前に、本製品を点検・確認し、縫製やパーツなど、磨耗、破損、不備があった場合には使用しないでください。
- 使用者が痛みや不快感を生じた場合は抱っこ補助具としての使用を中止してください。
- お子さまが不調を訴えた場合、抱っこ補助具としての使用を中止してください。



### 注意

誤った取り扱いをすると、「人が障害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される」内容です。

- 抱っこする際は、必ずお子さまの足を開いて使用してください。お子さまが落下する恐れがあります。
- 抱っこの際、使用者は必ずウエストベルト、キッズサポーターを使用してください。
- ご使用の際は必ず使用者の体に合わせて各ベルトの長さを調整してください。
- 本製品は「ちょい抱っこ」専用です。使用者の肩・腰の負担となりますので、抱っこ補助具としての長時間の使用はおやめください。
- 製品を直射日光の当たる屋外や火の近くに放置しないでください。生地や部品が変色・劣化し、事故につながる恐れがあります。
- 着用中、汗や水漏れ、摩擦などにより色落ち・色移りする可能性がありますので十分に注意してください。
- 対面抱っこをすると足元が見えにくくなる場合があるので、歩行には十分に注意してください。
- お子さまが本製品の中で動くことで使用者がバランスを崩す危険性がありますので注意してください。



### 禁止

絶対にしてはいけない内容です。  
製品の破損・故障により、事故につながる恐れがあります。

- 破れ、ほつれ、傷またはパーツが破損した場合は使用しないでください。お子さまが落下し、けがをする恐れがあります。
- 外に放置し、雨にさらした後は使用を控えてください。
- ベルト先端の返し縫部はほどいたり、切り落としたりして使用しないでください。
- 本製品をショルダーバッグまたは抱っこ補助具以外の目的で使用しないでください。破損・故障の恐れがあります。

落下防止のキッズサポーターをポーチから取り出してベルトを斜めがけにして装着する

06



Yeah!

子どもが落ちないように注意しながらウエストベルトを装着



装着動画はこちらから



05

ギューッ!



point.

足をしっかりM字になるように開いてもらう



point.

子供の背中に  
くるように

リング

どちらか一方のリングに直す

前側でベルトを留め、背当てポーチが子どもの背中の真ん中に当たるように調整します

Finish!

片方のフラップを立てて使用すると背当てになります

Variation ▽



02



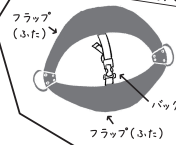
中のバックルを留め、フラップを倒してシートを作ります

point.

金具がついてる方を前にする

point.

ベルトは長くしておく!



▲ベルトを短くしすぎるとフラップが閉まらなくなり、座面が湾曲しないため危険です

04



point.

お尻がシートにしっかり乗るように

vsukameeta!

子どもの上からノルンをかぶせるように

01

ノルンを前にもってきて、2本のショルダーターベルトの間に腕を通します



背中のパッテンをなるべく下の方に持ってきておく!



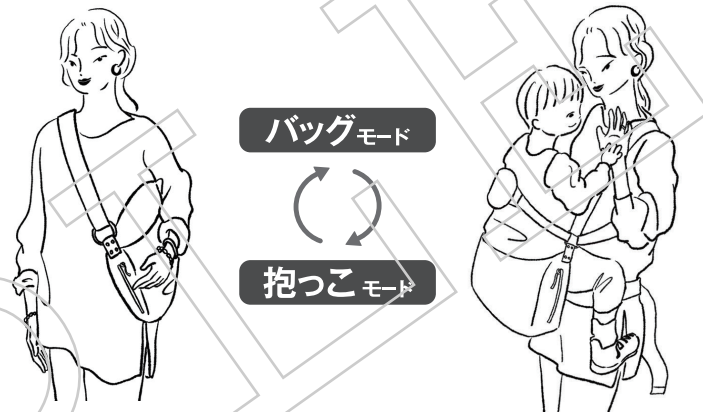
03



子どもを自分とノルンの間に立たせます

抱き上げて持ち上げてから乗せる

装着イメージ



バッグモード

抱っこモード

安全面の配慮について

お子さまの落下を防止するため、N/ORNでは下記のパーツを付けています。

【キッズサポーター】

抱っこ時にお子さまの背面からの落下を防止します。

【ウエストベルト】

抱っこ時に使用者の腰に装着することで、バッグと使用者の身体を密着させ、お子さまの正面からのズレ落ちを防止します。

※使用者の肩にかかる負担を軽減させる役目もあります。

N/ORNの引っ張り強度、染色堅牢度は一般財団法人 ボーケン品質評価機構にて確認試験を実施しております。お子さまの指挟み防止のため、抱っこ時にお子さまの手が届く部分のパーツの隙間は、先端5mm未満、背端13mmを超えるサイズに設定しています。

お手入れ方法

本製品は洗濯及びアイロンがけは出来ません。

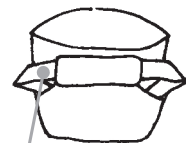
汚れた場合は中性洗剤を薄めた水を布に湿らせ、拭き取ってください。

直射日光や蛍光灯が長時間当たることにより、変色・退色する恐れがありますのでご注意ください。

⚠️ 注意 洗濯機の使用や、丸洗いは出来ません。ご注意ください。

各部名称

背面



ウエストベルト

バッグモード時は、斜めの収納ポケットに入られません。ベルトは抱っこの時期が過ぎたら取り外しも可能です。

ショルダーベルト調節金具

アイアンリング

サイドファスナー

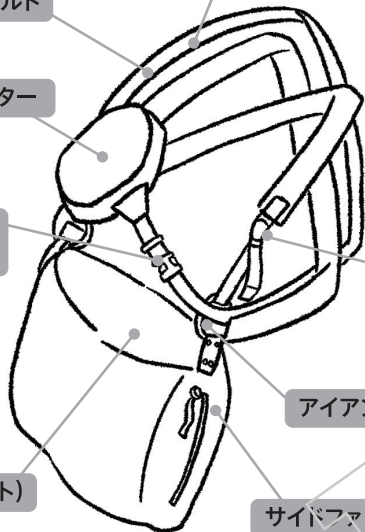
キッズサポーターベルト

ショルダーベルト

キッズサポーター

キッズサポーター調節金具

フラップ (キッズシート)



●『前向き抱っこ』でもっと抱っこを楽しく

対面抱っこができれば、ぜひ前向き抱っこもお試してください。

お子さまの視界が広がり、さらに散歩やおでかけがもっと楽しくなります。

手順: フラップを2つ倒した状態で、前向きにお子さまを座らせてください。抱っこ中は必ずお子さまのおなかに手を添えてください。

※抱っこモードの手順は4・5ページをご覧ください。

